



1/16 租税教室(3年生)

令和8年3月2日発行 第12号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076

【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】人間力で自立する生徒の育成

【目指す学校像】心理的安全性で Well-being を実現する学校

生徒数 1年61名 2年76名 3年74名 合計211名

お陰様

校長 板倉 邦弘

寒さ厳しい2月が終わり、待ちに待った春の訪れが、すぐそこまで来ていることが感じられる3月になりました。今年度も残すところあと1ヵ月です。3年生は13日(金)の卒業式、1・2年生は26日(木)の修了式に向けて、卒業・進級にふさわしい「自分」になれるよう、ラストスパートです。

さて、今年度最後のテーマは「お陰様」です。

この原稿を書いている今、遠くイタリアの地でミラノ・コルティナ冬季オリンピックが開催されています。そして連日、様々な競技で日本代表選手の活躍が報道されています。メダルを獲得した選手はもちろん、目標とするところまで至らなくても全力でプレーした選手の皆さんに、心から拍手を送りたいと思います。私は、このオリンピックだけではなく、様々なスポーツ中継で、競技後の選手へのインタビューをいつも楽しみにしています。特に、優勝した選手の話の内容や態度には、学べるものがたくさんあるからです。時には、感動して涙が出てしまうこともあります。話の中には、ほぼ間違いなく「支えてくれたコーチや、応援してくれた家族や仲間のお陰です」といった言葉があります。そういう謙虚な言葉が素直に出せる人に対しては、もっと協力してあげよう、応援してあげようという気持ちが、おのずと湧いてきます。謙虚な人は、自分以外の人が自分のために尽くしてくれたこと、応援してくれたことを分かっています。分かっているから自分以外の人の思いを力に変えて、更に自分のパフォーマンスを上げることができます。逆に「俺って、すごいだろう」みたいな態度をとられたり、「楽勝でした」なんて言われたりしたらどうでしょうか。もう応援したくなくなるし、きっとSNS等で大炎上してしまうことでしょう。

指導者の方にはもちろん、それまでお世話になった先輩や仲間(学校の先生も入れてもらえたらうれしい(^^)など、自分以外のすべての人に「お陰様で」という感謝の気持ちを持つ人になれば、その後もきっと良い成果が得られるのではないかと私は思います。「実るほど、頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」という言葉もあります。「実り」すなわち成果が出た時こそ謙虚になれ、という意味です。「お陰様です」「ありがとうございます」こういう言葉を素直に出せる謙虚な姿勢を身に付けておきたいものです。

3年生の皆さんは、もう2週間後には卒業式です。卒業できることは、当たり前ではありません。これまで皆さんを支えてくれたご家族の方の支えがあったからです。「お陰様で試験に合格することができました」「お陰様で中学校を卒業することができました」必ずご家族に感謝の気持ちを込めて、そういう言葉を伝えてください。

結びに、保護者の皆様をはじめ地域の方々のご支援・ご協力により、お陰様で今年度も無事に1年間が終えられそうです。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。